

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・施設要件を満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・国の定める基準よりもはるかに多くの職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・スロープや手すり等を設置している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・クラス担当職員で情報共有や話し合いをした後、全職員でケース検討会を実施している。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者等向け評価を実施し、得た情報を共有している。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・事業所の自己評価を行い、ホームページに掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・必要に応じて実施する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・月一回以上の職員研修を行っている。欠席した職員にも資料を渡し、周知している。 ・外部の研修に様々な職員が参加するようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・担当が個別面談にて子どもや保護者のニーズ確認をし、支援計画を作成している。児童発達支援管理責任者を中心に、作成した計画を多くの職員で検討している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・専門職員指導に基づき提供している
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・支援計画に反映し、提供している。 ・健康や食事・排泄・着脱等の身辺自立、姿勢・運動・操作等の身体機能、理解・表現、コミュニケーション等、子どもの発達に合わせて具体的な支援内容を設定している。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・職員間で支援計画の内容を共有し、支援している。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・月案会議にて計画、立案、相談をしている。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・月案会議にて確認している。 ・身体を使った遊び、製作、感触遊び、音楽遊び、野菜や植物の植え・収穫等をプログラムに取り入れている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・専門職員の指導を受けて、作成・提供している。

	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日の朝礼や振り返り、ケース検討で確認をしている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日、保育後にクラスや全体で振り返りを行い、情報を共有している。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎日、保育後に子どものできたこと、気付いた点等を共有するために記録をとっている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリングを行い、保護者との面談を通して計画の変更・見直しをしている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・招集があれば必ず出席している。(園長、児童発達支援責任者、担任等)
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・情報提供、連絡、相談等、連携をしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			・医療ケアカンファレンスを実施している。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			・医療機関との合同会議、勉強会を実施している。 ・主治医に医療的ケア指示書を書いていただき、医療的ケアを実施している。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・教育支援委員会等に参加している。 ・地域の園との交流保育をするために連絡・調整を行っている。
	㉕	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・連携会議や教育支援委員会等に出席し、情報共有と相互理解を図っている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・市内センター会議に出席している。 ・近隣5市の施設で療育者会を行い、各施設で実習をしている。また5市主任会に出席し、情報交換をしている。 ・碧海6市の施設で交流会をし、施設見学や情報交換をしている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・近隣保育園との交流保育を実施している。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・委員として参加(園長)
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・保護者面談や登降園時の引継ぎ、連絡帳で共通理解をしている。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・母子通園、食育、衛生指導等を実施している。

保護者への説明責任等	③①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・入園時に説明し、署名・捺印をもらい同意を得ている。
	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・支援計画作成後に保護者面談を行い、計画や支援内容の説明をし、同意を得ている。
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者との個別面談を随時実施している。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者会、座談会を実施し、保護者同士が連携をとれるようにしている。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・相談や申し入れがあった場合は、適時迅速に対応している。 ・臨時保護者会等で検討し、周知している。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年間予定表や毎月の園だより、定期的な会報を発行している。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・入園時に説明、確認をし、同意を得ている。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・手紙、電話等を活用している。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・入園式や卒園式、運動会、夏祭り等各行事へ招待している。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・マニュアルを作成・周知し、発生した場合を想定し、避難訓練を実施している。 ・職員間で救急時等の役割分担を決め、周知している。 ・訓練後は振り返りを行い、次の訓練に活かしている。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・マニュアルを作成・周知し、発生した場合を想定し、避難訓練を実施している。 ・職員間で災害時等の役割分担を決め、周知している。 ・訓練後は振り返りを行い、次の訓練に活かしている。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・保護者面談、主治医との連絡、連携で確認をしている。 ・てんかん発作が起きた時の症状や対応を職員全体で周知している。また起きた場合は記録をとっている。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	○			・指示書に基づき対応している。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・実施し、職員全体で共有している。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止に関する研修へ参加している。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				・身体拘束は行っていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ¹ が作成されているか	○			
	⑤	児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑦	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	○			
	⑧	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			
	⑨	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			
保護者への説明等	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	○			
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ⁱⁱⁱ 等)が行われているか	○			
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			
	⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	○			
	⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○			

	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			
	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○			
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○			
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	○			
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○			
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	○			
	㉒	事業所の支援に満足しているか	○			

i 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を 提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

iii 保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。